

## 平成20年度 第11回見沼区区民会議 議事録

日 時	平成21年3月26日（木） 18:30～19:30
会 場	見沼区役所 大会議室
出席者 (敬称略)	<p>&lt; 委員 &gt;  猪狩忠雄(異業種交流会WES21)、伊藤邦介(公募委員)、大川野英子(見沼区民生委員・児童委員協議会)、小野達二(NPO法人 自然観察さいたまフレンド)、合谷憲治(青少年育成さいたま市民会議 見沼区連絡会)、小山静江(さいたま商工会議所)、白瀧康次(NPO法人 地域人ネットワーク)、桜井定夫(大宮医師会)、田口和子(さいたま市保健愛育会 見沼区支部)、田中秋弘(埼玉中央青年会議所)、長沼和子(公募委員)、中村とさ子(公募委員)、西尾真治(公募委員)、林一三子(まちづくり市民ネットワーク・さいたま 見沼区部会)、高橋年雄(七里地区社会福祉協議会)、丸山深雪(さいたま市交通安全保護者の会(母の会)見沼支部)、宮本英典(さいたま市PTA協議会 見沼区連合会)、横田洋子(SSC見沼区スポーツクラブ)</p> <p>&lt; 見沼区 &gt;  浅見孝雄(区長)、櫻沢健司(区民生活部長)、大澤成夫(健康福祉部長)</p> <p>&lt; 事務局 &gt;  中村友一(区民生活部コミュニティ課長)、金井利夫・長谷川彰・鈴木喜菜(区民生活部コミュニティ課)</p> <p>&lt; コンサルタント &gt;  安部邦昭(NPO法人都市づくりNPOさいたま)</p> <p>&lt; 傍聴者 &gt;  0名</p>
次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 前回議事録の確認</li> <li>(2) 各部会の活動報告について</li> </ol> </li> <li>3. 活動報告書を区長へ提出</li> <li>4. 記念品贈呈</li> <li>5. 区長御礼挨拶</li> <li>6. 閉会</li> </ol>
資 料	資料1. 平成20年度 第10回見沼区区民会議 議事録案 資料2. k o r e k a r a (都市局まちづくり広報誌)

以降は、委員の発言等に基づき、会議内容の骨子をまとめたものです。従って、会議の趣旨や発言の関連性に照らし、同様の意見の集約、発言順の編集等を行っています。

## ■議事

---

### (1) 前回議事録の確認

特に変更無し。

### (2) 各部会の活動報告について

各部会・委員会とも、特に報告事項は無し。

## ■活動報告書を区長へ提出

---

丸山会長代理より、浅見区長へ報告書が提出された。

## ■記念品贈呈

---

各委員へ、記念品が贈呈された。

## ■区長御礼挨拶

---

委員の皆様におかれては、2年間にわたり区民会議委員として積極的に様々な活動に参加された。この間、数多くの会議で熱心な議論と活動をしていただいた。

この中で、見沼区の木・花・鳥・蝶と見沼区八景からなる見沼区のシンボルの選定、ふるさと発見てくてく見沼の実施、生活安全標語の募集と選定、あいさつ励行・マナーの向上のキャンペーン活動の実施、拡大区民会議、ニューイヤークンサートの開催など、多彩な活動をしていただいた。また、これらの活動を区民にお知らせするために、区民会議だよりやホームページを使った広報をしていただいた。非常に幅広く皆さんにご活躍いただいたものと感謝している。

活動を通して経験した苦しかったこと、楽しかったことなどが、みなさんの脳裏に浮かんでいることと思う。これらの活動の成果を踏まえ、区政・市政への提言等を含んだ活動報告書を、先程ご提出いただいた。活動を振り返るにあたり、第3期の区民会議として初期の目標を達成され、実り多き区民会議となったことを感謝申し上げる。報告書については、後日、市長へ活動報告を行うことになっている。活動報告の内容については、真摯に受け止め、今後の行政運営の参考にさせていただきたい。

今期、誠に悲しく残念なことに、小島会長、野崎副会長が相次いで急逝された。お二人のご冥福をお祈りしたい。

第3期の委員としての任期は今日で終わり、区民会議は第4期の委員へとバトンタッチされる。委員各位におかれては、これまでの区民会議での経験を活かし、地域活動の中でもご活躍いただくことを期待している。その中で生まれた意見や提案は、区政まで、忌憚無く声をお寄せいただきたい。見沼区としても、区民との協働による区政の推進を進めていきたい。区民の誰もが安心して安全に暮らすことができ、明るく活力あるまちの実現へ向けて、各課にわたり取り組んでいきたい。皆さまのご健勝とご多幸を祈念する。2年間、ご苦労様でした。

## ■委員より感想

---

- 委員：比較的若い方の部類になるが、良い勉強をさせて貰った。
- 委員：初めてこういう場に出た。反省に色々と書いたが、各部を代表して出られた方ともしっかりと活発に意見交換ができるかなと思ったのだが、これができなかったことが残念。それぞれ、様々な課題を抱えていると思う。最初の5～6回で、それぞれの挙げられた問題を討議して、後半にそれを提示し、2年目に検討するという方法が良いと思った。ぜひ、次回の皆さんにはそのように進めていただきたい。
- 委員：いよいよ最後と、しみりとしている。卒業式と一緒に、寂しい感がある。アンケートにも書いたが、2年間は短い気がする。4～7月までは何をやったらよいか、分からないでウロウロしていた。その後、ようやくこのようなことができるのかと分かり活動をしたが、これを振り返り、反省を踏まえて更なる活動をする、という前に終わってしまった。全体会は、部会報告が中心になってしまい、委員それぞれが普段活動している内容すら、よく分からずじまいであった。出発点から、交流・懇親の部分をしっかりやったらよいと思う。第4期には、もう一歩進んだ区民会議にしてほしい。
- 委員：第3期で区民会議の知名度を、標語を通して広めることができた。子供達を通して家庭へ、そして表彰式で区長さんから手渡して貰うなど、多少は記憶に残る活動ができたのではないかな。大変楽しかった。
- 委員：生活安全部会に入り、大変楽しかった。できれば、もう2年間一緒にやりたかった。拡大区民会議は大変良かった。もう少し早く計画して、実施できれば良かった。
- 委員：月末の会議だったため、時間の都合からなかなか参加できなかった。こちらで学んだことを、所属団体に戻り、活動に広げていきたいと思っている。
- 委員：コミュニティ会議から出させていただいているが、自身には肩書きもなにもない。区の会議に参加したのは初めてであり、大変勉強になった。全体会が報告だけで終わってしまい、議論が広がらなかったことが残念。
- 委員：商工会議所から来ているが、企業という部分を会議の中で表すことができなかったことが残念。ネットワーク部会に参加していたが、守備範囲があまりに広く、部長を中心に苦労をした。
- 委員：地域に住んでいる人に意気込みを持っている、気持ちのよい人が、見沼区に沢山いることがよく分かった。生涯ここで暮らしていく決心が付いた。
- 委員：見沼区に家を構えたことを機会に、参加した。公募できてみたら、部会長を拝命し最初は戸惑ったが、委員さんに支えられ、なんとかここまでこられた。毎月部会に

参加するのが大変であったが、女性やサラリーマンが参加しやすい工夫があると良い。引き続き、地域のことに関心を持って参加したい。

委員：部会と広報委員会で2倍楽しませていただいた。広報誌とホームページを楽しくやらせていただき、充実感もある。区民会議全体で見ると、今期はエンジンの掛かりが遅く、今やっと調子が出てきた感がある。あと1～2年あればと残念に思う部分もあるが、次期に期待したい。

委員：思いがけない出会いがあったのが、収穫であった。自然環境部会と広報委員会に参加したが、様々なことを勉強した。

委員：前任者から急遽引き受けたため、はじめは内容がよくわからなかった。こんなに良く会議をするところを、他に知らない。感心した。

委員：自然が多いこのような場所で、スポーツを企画運営して、皆さんに人生を楽しんでもらう企画をしている。子どもや自然という地域の財産を引き継いで、次の委員さんにも継いでいってほしい。

委員：コミュニティ会議の登録団体として出てきたが、コミュニティ会議は現在、開店休業状態となっている。今後の課題として、コミュニティ会議との連携や運営を考えていければと思う。自身は水と緑に関することをやっているが、みなさんとも関わって行ければと思う。県の環境アドバイザーをやっているので、県に要請して貰えれば、費用をかけずにお手伝いできる。ご利用いただければと思う。

委員：最初はどのような会議かよく分からず、戸惑いから始まった。毎月、ボランティアでもお世話になっている。今後も、よろしくお願ひしたい。

委員：もっと皆さんと話す機会があれば良かった。また、もっと若い人が入れば、会議を活性化できるのではないかと思った。自然環境部会と広報委員会に参加し、大変だったが、やりがいのある仕事であった。楽しかった。

委員：小島会長が亡くなったことがショックだった。ここ以外の場所でもよくお会いするようになり嬉しく思っていた。また、野崎会長代理にも日頃からよくお会いしていたが、続けて逝去され、残念。最後にこのような役を受け、恐縮している。委員の皆さんの支えに感謝している。